

桜町本通り商店街振興組合 第3期商店街活性化計画



上段 八日餅市
下段 ふれ愛フェスタ2011

目次

I	桜町本通り商店街の概要	1
II	第2期商店街活性化計画事業の主な成果と目標達成状況	2
III	第2期商店街活性化計画事業評価一覧	3
IV	第3期商店街活性化計画の基本方針と目標	4
V	事業計画	5
VI	推進体制	7

桜町本通り商店街振興組合
平成23年3月19日

1 商店街組合員の現状 第2期商店街活性化計画（H20年）から現在（H22年3月）までの推移

- 組合員数は1店舗、増えたものの、2店舗が閉店し、合計で22店舗とネリ1店舗減少した。
 - ・空き店舗に飲食店（お好み焼き）が開店し商店街に加盟したことで、1店舗増加した。
 - ・2店舗が、店主の高齢化にともない廃業し閉店した。

◆組合員番号と取扱商品

店 上	取扱商品	店 号	取扱商品
1 学生衣料の専門店	学生服	11 増田屋金物店	金物店
2 時計とめがねの塚田	借金類	12 きものまき	呉服
3 居酒屋さくらまら	居酒屋	13 塚客堂t-e-1	車窓
4 毛糸、ふっや	製店・洋服	14 お好み焼きこっぼち	飲食店
5 ふとんの芳屋デザイン	製店	15 メンバーズ福祉	パー
6 菓子文楽店	酒類・菓子・洋酒	16 朝人郷の山荘屋	輸入服
7 太平製菓	製菓店	17 マルタケ人形店	人形
8 イトウフロン	寝具	18 ロマン	エステサロン
9 光野堂仏具店	仏壇・仏具	19 そと川屋	靴・履物
10 白屋商店	日用品店	20 桜工房	写真スタジオ
		21 リカー・ギフトマルマ	飲料販売
		22 古瀬問屋商店	日用品

新規加盟した組合員→1 店舗

閉じた組合員→2 店舗

23

組合員（平成20年4月）



22

組合員（平成22年3月）

◆組合員位置図



◆業種別組合員数

衣料品・身用品 4店	家庭用品 3店	飲食店 4店	卸売業 2店
主力商品 店	主力商品 店	主力商品 店	主力商品 店
呉服・和装 1	日用雑貨 2	和食 1	雜物 1
鮮肉類 1	金物・洋装類 1	スナック 1	酒類・菓子材料 1
靴・履物 1		居酒屋 2	
学生服 1			

文 化 品 4店	飲食料品店 1店	サービス 4店
主力商品 店	主力商品 店	主力商品 店
呉服 1	酒類 1	理容 1
宝飾・金具類 1		エステ 1
仏壇仏具 1		写真スタジオ 1
人形 1		会計事務所 1

◆業種別推移 [平成20年→平成22年]



- 店主の高齢化により、毛糸衣料品店（衣料品・呉服店）と寝具店（文化品）がそれぞれ1店舗、計2店舗が閉店した。
- 空き店舗に飲食店が入り、1店舗増加した。

衣料品・身用品 1店舗 減少
文化品 1店舗 減少

空き店舗 1店舗
⇒ 飲食店（お好み焼き）

Ⅱ 第2期商店街活性化計画事業の主な成果と目標達成状況

1 第1期商店街活性化計画事業の主な成果

「新・がんばる商店街7選」に選ばれました！
平成21年7月 経済産業省

今後の商店街の活性化に向けたモデル事例としてアイデアと工夫を凝らしながら頑張っている商店街の取組みを選定する「新・がんばる商店街7選」に選ばれた。
「八日朝市」で賑わい創出、地元産物にこだわった市、桜のデザインをあしらった統一ファサードや商店街名の入った統一看板、統一ロゴ、タペストリー設置など、徹底した景観整備で、歩いて楽しい街づくりを目指した取組が評価された。

全国がんばる商店街フォーラム

毎月八日開催「八日朝市」の取組み強化

①高齢者から子どもまで三世代交流を目指した市の展開
第2期で、八日朝市に新たに5店舗が出店し、ちんどん屋のイベントも行った。

売き立てパン 手づくり子供服と小物雑貨 駄菓子(とよたプロジェクト)

花箱(豊田コンシェルジュ人形センター) 特産品 ちんどん屋(新橋・チカラ製粉)

③折り込みチラシ年6回実施

②元城小学校の八日朝市体験学習「ぼくも、わたしも子ども店長」

H22年
10月
11月
H23年
2月
3月
計4回実施

2 目標の達成状況

目標内容	達成状況(平成22年度)																								
①売上の拡大 全店舗、5%売上UPを目指す	5%までUPした店舗になかった。																								
②歩行者通行量の増加 平成22年度歩行者通行者数 休日1,000人・平日801人/日 を目指す(81年水準を目指す)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">坂町本通り歩行者通行量 〔資料：平成22年度堺田市 中心市街地歩行者通行量調査 /商業観光課〕</td> <td></td> <td>H22年</td> <td>H21年</td> <td>H20年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩行者数</td> <td>数</td> <td>歩行者数</td> <td>数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休日</td> <td>546人</td> <td>377人</td> <td>144.1%</td> <td>676人</td> <td>81.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平日</td> <td>672人</td> <td>772人</td> <td>87.4%</td> <td>335人</td> <td>125.6%</td> </tr> </table>	坂町本通り歩行者通行量 〔資料：平成22年度堺田市 中心市街地歩行者通行量調査 /商業観光課〕		H22年	H21年	H20年		歩行者数	数	歩行者数	数		休日	546人	377人	144.1%	676人	81.5%		平日	672人	772人	87.4%	335人	125.6%
坂町本通り歩行者通行量 〔資料：平成22年度堺田市 中心市街地歩行者通行量調査 /商業観光課〕			H22年	H21年	H20年																				
		歩行者数	数	歩行者数	数																				
	休日	546人	377人	144.1%	676人	81.5%																			
	平日	672人	772人	87.4%	335人	125.6%																			
③組合員数の増加 2.3店舗(現状)+1店舗を目指す	2.2店舗となった。(1店舗減少、1店舗増加)																								
④賑わいの強化、商店街の拡大化 新規創業1店舗、業態転換1店舗 を目指す	新規創業1店舗達成し、業態転換を行う店舗は届出できなかった。																								

IV 第3期商店街活性化計画の基本方針と目標

1 第3期商店街活性化計画の基本方針

< 活性化事業の位置づけ・考え方 >

- 第3期活性化計画は第1期及び第2期の成果を維持継続し、さらに発展させる事業計画とする
- 事業継続が最大の効果と考える。事業は、マンネリ化しないように、地域性や話題性、メリハリのある内容を工夫する
- 中心市街地商店街のめざすべき方向の「こだわりのある商品とサービスを提供し、界隈機能の拡充をめざす」にもとづいた取り組みとする
- 地域経済及び生活の核である商店街の社会的役割を踏まえ、商店街が、地域や世代間のコミュニティの連携を深める役割を担う

第2期活性化計画でも挙げているとおり、「店主の高齢化、後継者不足による空き店舗の問題がある」「日常の通行量が依然少ない」という深刻な課題があるが、商店街だけでは太刀打ちできない課題でもあると考える。第3期において、成果を挙げている事業を継続し、発展させる努力を行いたい

◆事業コンセプト

桜町本通り商店街は

「下町の歴史と情緒」、「老舗商店街としての伝統と信頼」を大切にし、将来に向けてこだわりのある商品とサービスを提供し続ける商店街

をめざします

◆商店街の取り込む客層のイメージ

客層のイメージ
田舎と田舎ジュニア世代とその子供が集う三世代交代商店街
＝おじいちゃん・おばあちゃん、おとうさん・おかあさんから、お孫さんまで＝

特に強化するターゲット

●品質やサービスにこだわる主婦層 (具体的なイメージ)

- ・子育てが一苦労して自分のとき・ものを楽しむ余裕がある
- ・値や夫と買物や趣味を共有したい。

●交遊意欲の強い中高年層 (具体的なイメージ)

- ・友人どうしや夫婦で行動するのが好き
(友人をたくさんつくりたい)
- ・話といっしょに楽しみたい

2 第3期活性化計画の目標数値

●八日朝市の歩行者通行量を増やす

3地点〔①半母神社南入口 ②桜町本通り商店街東 ③桜町本通り商店街西〕 合計歩行者数
平成22年8月3日 5,457人 → 平成25年8月8日 1,730人 [5%増加を目指す]

(平成22年8月8日)

①半母神社南入口	3,173人
②桜町本通り商店街東	1,305人
③桜町本通り商店街西	975人
合計	5,457人

●組合員22店舗を維持しつつ、1店舗でも増加を目指す

V 事業計画

1 第3期活性化計画事業一覧

目 標		事業内容		H23年度	H24年度	H25年度	
1 店舗経営・営業力	空き店舗等への対応	継続	・空き店舗、廃業者がない店舗へ、飲食店など商店街の不足業種の導入を目指す	随 時	→	→	
	若手事業者・後継者の育成	継続	・商工会議所を活用し、経営手法・知識の取得	随 時	→	→	
	業種・業態転換を見据えた研修等の実施	継続	・豊田市商店街連盟「一店一品運動」に積極的参加	市商連事業に準ずる	←→	←→	←→
		継続	・顧客の経営改善をめざしシニアアドバイザー、タウンマネジャー等の活用	随 時	→		
		継続	・ノウハウの習得等を目的とした定期的な先進地視察の開催	年1回実施	●	●	●
目 標		事業内容		H23年度	H24年度	H25年度	
2 商店街環境整備事業	前店街ファサードの維持管理	継続	・バナーの更新	毎年1回更新	●	●	●
		新規★	・タペストリーの作成（ファサード補装）事業	H23年検討、H24年度に実施	デザイン、予算の決定	実施	
		継続	・ファサード補修	管理規程に準ずる	実施	→	→
	快適な商店街空間の演出	継続	・季節感を演出する花飾り（通り一面にフラワーバットの設置）	年3回、植え替え実施	●●●	●●●	●●●
		継続	・夏（おいでんまつり）、冬（年末花出し）に合わせたイルミネーション	年1～2回実施	← 7月・12月 →	← 7月・12月 →	← 1月・12月 →
		継続	・ベンチや柱など通りにインテリア風小物（イスや家具）を設置し、くつろぎスペースをつくる	現在、八日市に設置 富時設置など継続計	実施	→	→
目 標		事業内容		H23年度	H24年度	H25年度	
3 商店街活性化事業	八日市の活性化	継続	・出店内容、出店数の充実	近隣町村、業者に出店依頼	実施	→	→
		継続	・集客目的で、イベントやふるまひの充実を図る	八日市に実施、年1～2回	実施	→	→
		継続	・八日市に合わせて、ワゴン販売やセールなどの売り出しを行う	八日市に実施、年1～2回	実施	→	→
		継続	・八日市ふるまひ時に商店街PRチラシと一緒に配布する	八日市に実施、年1～2回	実施	→	→
	地域コミュニティづくり	継続	・商店街新入部による清掃・花飾りなど地域直営、コミュニティづくり ※花飾り事業と連携	年3回、植え替え実施	実施	→	→
		新規★	・地元小中学生の体験学習の場提供事業	個店での体験学習を検討・実施	実施	→	→
		継続	・地域の老所、行事等の地域コミュニティ情報の発信・紹介	八日市チラシ発行に合わせて実施	年6回	年6回	年6回
	共同セール・イベントの開催	継続	・ふれ愛フェスタの開催	4、5月のいづれか日の1回	●	●	●
		新規★	・豊田おいでんまつり協賛セールやイベントの開催	豊田おいでんまつり開催日に準ずる	●	●	●
		継続	・抽選会等お買い上げイベントの実施	年末抽選会	◀11月▶	◀11月▶	◀12月▶
桜町ブランドの創出	新規★	・桜町ブランドの創出事業	H23年検討、H24年度に実施	内容、予算の決定	実施	→	

V 事業計画

2 第3期活性化計画 新規取組み

タペストリーの作成事業（ファサード補修）

商店街ファサード事業で実施したタペストリーが老朽化しているので更新の必要がある。



地元小中学生の体験学習の場提供事業

第2期にて、八日町市にて元城小学校の生徒を対象に、ふるまいやチラシ配布、出店者の手伝い（呼び込み、袋づけ）の体験学習を実施してきた。

第3期では、商店の体験学習を実施したい。体験内容はお掃除・商品の値段表示・陳列・接客・レジ操作など、店の特色に合わせた内容を考えたい。

また、体験学習の最後に各お店から認定書と写真を授与し、教室や家庭での話題づくりにも役を担いたい。



豊田おいでんまつり協賛セールやイベントの開催

豊田おいでんまつり“おいでんファイナル”の範囲拡大を商店街の認知度を高める好機としてとらえ、交通規制状況等まつりの運営状況を見ながら、歓迎の挨拶やイベントの開催を検討する。



第42回豊田おいでんまつり停車基盤の様子

実施検討内事業
 ・イルミネーションの実施
 ・桜吹がーてん（ピアガーデン）の実施

桜町ブランドの創出事業

商店街オリジナルキャラクターの立ち上げやオリジナル商品の開発を行い、販促品として活用することで、商店街の知名度を上げる。



苅豆の名所にちなんだキャラクターを開発する。早鳴地蔵通り商店街イメージキャラクター「やがもん」の仲間募集ストラップ



オリジナルニコバックの販売。タペストリーと同じデザインにしたり、レトロな帆布素材を活用し、より商店街らしさを出す。



オリジナル「桜パン」の販売。出店者とタイアップし八日朝市限定の商品を販売する。

